

「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」個別事業の評価一覧

事業の評価													予算			担当課			
■ 施策(4) 家庭の教育力の向上													予算			※太字が評価を記載した課			
【Plan】計画				【Do】実施				【Check】評価		【Action】改善		予算							
柱番号	事業番号	事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	27年度の事業計画	27年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	評価	評価の理由(分析)	次年度以降の課題や改善内容	予算		決算額・次年度予算額【千円】	備考	
1	68	家庭・地域への啓発事業	家庭教育について、関心のある保護者とそうでない保護者の二極化傾向が見られる中、従来の取組みに加え、小学校入学前の早い段階からの啓発の実施など、よりきめ細かく家庭の教育向上に取り組む。 ○早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣の重要性を啓発するリーフレット「きほんのき」(3～5歳児対象)の作成配布 ○全市立幼稚園・小・中・特別支援学校における家庭教育学級の実施 ○保育所・私立幼稚園における家庭教育学級の拡充(全園での実施)など	・小学校入学前説明会での啓発や、幼児の保護者を対象とした家庭教育講座の実施などを通して幼児期の保護者への啓発を強化する。 ・主に中学校の保護者を対象とした「家庭教育講演会」を実施し、保護者の負担軽減を図りながら、より多くの保護者に、家庭で子どもの教育をする心構えや、子どもへの接し方などを学習する機会を提供する。	①基本的な生活習慣の啓発リーフレット配布 ②全市立幼稚園・小・中・特別支援学校における家庭教育学級開催 ③保育所・私立幼稚園における家庭教育学級の拡充 ④幼児の保護者を対象とした家庭教育講座の実施 ⑤家庭教育講演会(全市版家庭教育学級)の開催	①保育所・幼稚園に在籍する3才児の保護者及び小学校入学前説明会にて5歳児の保護者へ配布 ②208校(全校)実施 ③保育所(民営68園、直営19園) 私立幼稚園 49園 ④10市民センターで実施 ⑤開催数 1回	家庭教育学級開設数 【現状値】 345か所 (H25年度) 【目標】 370か所 (H30年度)	単年度目標 340か所 単年度実績 344か所 達成率 101% 計画目標 93.0%	340か所	350か所	360か所	順調	・家庭教育学級開設数は、ほぼ目標を達成。また、幼児の保護者が小学校入学前に家庭教育の重要性を学ぶ「家庭教育講座」や、全市版家庭教育学級としての「家庭教育講演会」等も実施したことから、「順調」とした。	【課題】 ・家庭教育に関心のある保護者とそうでない保護者の二極化が見られるため、小学校入学前の早い段階から、より多くの保護者に家庭教育の重要性を啓発する必要がある。 【改善】 ・今後も、より多くの保護者の参加を目指した講演会等を開催するとともに、幼児期の保護者への啓発を継続する。	家庭・地域・学校・パートナーシップ事業	決算 8,573の一部	予算 10,612の一部		市文・生涯学習課
1	69	PTA活動との連携	PTA活動の趣旨、目的について理解を深めるとともに、PTA活動に必要な知識、技能を習得することにより、健全なPTA活動の推進を図ることを目的とし、各種研修会の実施や意見交換などに加え、子どもの基本的な生活習慣の定着に向けた事業などを、PTA協議会と連携して取り組む。	・PTAの日の設置に合わせて、小学校応援団と連携し、保護者がPTA活動に参加しやすい環境づくりを進める。 ・PTA協議会と協力して、より多くの保護者に対する啓発(講演会等)を行う。	①PTA協議会と協力して、保護者向けの研修会を開催する。 ②小学校応援団と連携し、PTA総会開催日を「PTAの日」とし、小学校応援団参加企業の経営者・幹部、従業員(保護者)向けに「PTAの日」へのご協力のお願い文書を送付する。	①各研修会への参加人数 708人 ②「PTAの日」へのご協力のお願い文書を小学校応援団参加企業の経営者・幹部、従業員(保護者)向けに送付した。	各研修会への参加人数 【現状値】 819人 (H26年度) 【目標】 850人	単年度目標 850人 単年度実績 708人 達成率 83.3% 計画目標 83.3%	850人	850人	850人	順調	・各研修会への参加人数は目標の83%であるものの、研修会やその他取組の実施にあたり、北九州市PTA協議会と連携を図りながら実施するとともに、「PTAの日」の設置という新たなアプローチを行えたことなどから、「順調」とした。	【課題】 ・保護者のPTA活動への参加促進及び家庭の教育力の向上に向けた効果的な取り組みの検討。 【今後の方向性】 ・小学校応援団と連携し、保護者がPTA活動に参加しやすい環境づくりを進める。また、PTA協議会と協力することで、より多くの保護者に対する啓発(講演会等)を行う。	・成人教育 ・子どもの読書活動推進事業の一部	決算 372	予算 373		教育・指導第二課
1	70	親育ち支援連続講座等の実施	子育てふれあい交流プラザや子どもの館などの子育て支援施設において、その施設の特徴を生かし、幅広い年代にわたる親育ち支援のための講座を体系的に実施する。	・既存の講座を体系的に整理し、両施設の特徴を生かした親育ち講座等を実施する。	①子育てに不安を感じている親世代に、充実した講座等を通じて、安心して子育てができるように知識や心構え等のアドバイスを行う。	①両施設において、幅広い年代にわたる親育ち支援のための講座を実施。	両施設講座等実施回数 【現状値】 443回 (H26年度) 【目標】 維持	単年度目標 前年度比(443回)同水準 単年度実績 421回 達成率 95.0% 計画目標 95.0%	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	順調	・両施設において、それぞれの施設の特徴を生かした親育ち支援のための講座等を実施した結果、ほぼ目標を達成できていることから順調とした。	指定管理者と協調し、幅広い年代にわたる親育ち支援のための講座を体系的かつ効果的に実施できるよう、引き続き内容の充実を図る。	子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業	決算 420,668の一部	予算 425,411の一部		子家・総務企画課
1	71	家庭内事故防止のためのPR	0歳児を除く子どもの死亡原因のトップである不慮の事故をなくすため、子育てふれあい交流プラザ内に、日常生活空間を再現した「セーフキッズ」を設置し、家庭内の危険箇所や予防方法を紹介する。	・より多くの方々にご利用いただき、啓発を図る。	①引き続き、日常生活空間を再現したコーナーで、事故予防の啓発を行うことで、より効果的に子ども不慮の事故を防ぐことにつなげる。	①子育てふれあい交流プラザをご利用される多くの方に、ご利用いただくことができた。	セーフキッズ利用者数 【現状値】 11,582人 (H25年度) 【目標】 増加	単年度目標 前年度(14,815人)比増加 単年度実績 22,307人 達成率 150.6% 計画目標 150.6%	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	大変順調	・目標を上回るたくさんの方々にご利用いただき、啓発することができたため。	・子育てふれあい交流プラザを利用する多くの方々にご利用していただけるように、積極的にPRを行い、さらなる啓発を図る。	子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業	決算 420,668の一部	予算 425,411の一部		子家・総務企画課

事業の評価										予算			担当課								
【Plan】計画										【Do】実施			【Check】評価	【Action】改善	予算			※太字が評価を記載した課			
柱番号	事業番号	事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	27年度の事業計画	27年度の主な実績	活動指標			評価	評価の理由(分析)	次年度以降の課題や改善内容	予算事務事業名	決算額・次年度予算額【千円】	備考						
							区分	27年度	28年度							29年度					
1	72	子どもの読書活動の推進	学校における10分間読書の継続・充実や家庭への働きかけ等、言葉の力の上につながる読書習慣の定着を図る。また、学校図書館職員の配置やブックヘルパー等の活用により、すべての小中学校で学校図書館の常時開館を実現する。	・平成27年度は、「北九州市子ども読書プラン」の期間の最終年となることから、次期計画の策定に向けて各事業の検討を行う。	①「北九州市子ども読書プラン」に掲載されている27項目の実施 ※27項目の例 ・「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」の推進 ・家読(うちどく)の推進 ・10分間読書の推進 ・利用しやすい学校図書館の環境づくり(司書・ブックヘルパーの配置拡充、蔵書のデータベース化)など	①27項目全て実施	北九州市子ども読書プランに掲載されている施策・項目(H28年度からは新・北九州市子ども読書プラン) 【現状値】 27項目 【目標】 27項目(平成28年度からは36項目)	27年度 27項目	28年度 36項目	29年度 36項目	達成率 100%	計画目標 100%	順調	・指標である「子ども読書プラン」の27項目を実施し、子どもの読書を推進する取組みを進めることができた。 ・プランに基づき、各項目に取り組んだ結果、課題が残されている部分もあり、これらを踏まえて新しいプランを策定したことなどから、「順調」とした。	・平成28年2月に「新・北九州市子ども読書プラン」を策定し、平成28～32年度の5年間は、新しいプランのもと、豊かな心と生きる力をはぐむ読書環境の充実と、子どもが楽しく自主的に本を手取る読書習慣の形成に努める。	子どもの読書活動推進事業 学校の読書活動推進事業 新・「読書で広がる子どもの未来づくり事業」 子ども司書養成講座等学校読書活動支援事業 標準運営費の一部	決算 207,493	予算 322,382		教育・企画調整課	
1	73	ブックスタート(全ての赤ちゃんに本のよここびを)事業	絵本を通して親子が楽しい時間を分かち合うことで「赤ちゃんの心健やかな成長」と親子の絆を深めることを支援するきっかけづくりとなるよう、赤ちゃんのいる家庭へ「絵本パック」を無料で配布する。 また、本にふれあうきっかけづくりとして、市立図書館、保育所、親子ふれあいルーム等で読み聞かせを実施しその体験を家庭でも生かしていただけるように努める。	・絵本パックを受け取れる場所を増やすことが配布率向上につながるから、配布場所の拡大を検討する。	①赤ちゃんのいる家庭への「絵本パック」の無料配布 ②「絵本パック」を受け取りやすい環境を整備するため、配布箇所の拡大	①「絵本パック」を配布した。 ②市立幼稚園8箇所での絵本パック配布を開始し、配布箇所が拡大した。	絵本パック配布率 【現状値】 67.1%(平成26年度) 【目標】 100%(平成32年度)	70.0%	75.0%	85.0%	64.0%	91.4%	91.0%	順調	・平成27年度の配布率は64%となり、単年度目標の達成率は90%以上であった。 ・配布場所を8箇所増加することができた。	・早い時期から子どもの読書活動に関心を持ってもらうきっかけづくりとともに、配布率の向上をはかるため、これまで出生後に絵本パックを配布してきた「ブックスタート事業」を見直し、平成28年度から出生前の母子健康手帳交付時にあわせて絵本パックを配布する「はじめての絵本事業」を実施する。	ブックスタート(すべての赤ちゃんに本のよここびを) ブックスタート(拡充版) はじめての絵本事業	決算 10,974	予算 17,326		教育・中央図書館庶務課
2	74	北九州市子どもを育てる10か条の普及促進活動	子どもの基本的生活習慣の定着や、家庭や地域の教育力の向上を図るため、「早寝・早起き・朝ごはん運動」や「北九州市子どもを育てる10か条」を、市民に広く実践してもらうための普及促進を図る。	・地域において「北九州市子どもを育てる10か条」の更なる普及、啓発を図る。	①子どもを育てる10か条を広く市民に広めるための出前講演開催。	①出前講演を実施6回	出前講演開催回数 【現状値】 15回(H26年度) 【目標】 10回	10回	10回	10回	6回	60%	60%	やや遅れ	・出前講演開催回数は目標数を下回ったが、啓発については、チラシのぼり旗を各小中学校や市民センターなどに配布し、更なる普及を図るなど、長年の普及・啓発活動で徐々にではあるが「10か条唱和」が取り入れられていることなどから、「やや遅れ」とした。	【課題】 ・学校や市民センター等での啓発により認知度が高まる一方、啓発方法がマンネリ化しているという課題がある。 【今後の方向性】 ・市立の幼稚園や学校及び市民センター等に対し、チラシ・ポスターの配布を依頼したり、各種会議・講演会・行事などでの唱和、市営バスでの車内放送広告等を実施したりすることにより、低コストで効率的に広く市民、地域に粘り強く周知、啓発を行っていく。	家庭・地域・学校パートナーシップ事業の一部	決算 468	予算 346		教育・指導第二課
2	75	「子どもまつり」の充実	家庭におけるコミュニケーションの促進を図るため、「子どもまつり」の中で親子のふれあい等を高めることができる催しを実施する。	・各イベントブースで行う取組みの内容を充実させ、親子のふれあいを強く推進する。	①各区における「子どもまつり」の実施 ②親子のふれあいの推進	①②各区で趣向を凝らしたイベントを実施した。 来場者総数: 74,700人	来場者数 【現状値】 79,264人(H25年度) 【目標】 増加	79,264人	前年度 比同水準	前年度 比同水準	74,700人	94%	94%	順調	・数多くの親子連れが来場し、ロープワークや靴飛ばし、昔遊びなど、親子で一緒に楽しむことができる体験の機会を提供することができた。	【課題】 ・より多くの親子等に参加してもらえるよう効果的な広報を行う。 【改善】 ・内容の充実はもちろんのこと、チラシや市政だより、ホームページなどで、「参加したくなる工夫」(キャッチコピー等)を行う。	子どもまつり	決算 2,450	予算 2,450		子家・青少年課

事業の評価

予算

担当課

■ 施策(4) 家庭の教育力の向上

柱 番号	事業 番号	【Plan】計画				【Do】実施				評価	【Check】評価 評価の理由 (分析)	【Action】改善 次年度以降の課題や改善内容	予算			※太字が評 価を記載した 課		
		事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	27年度の 事業計画	27年度の主な実績	活動指標						予算 事務事業名	決算 額	備考			
							区分	27年度	28年度								29年度	
3	76	家族のための ペアレント トレーニング事 業	虐待の再発防止および発生予防を図るため、「虐待を行った保護者」および「養育不安のある保護者」に対して、「家族再統合コース」「養育不安コース」の二種類のプログラムを実施し、児童に対する養育技術に関する訓練を行う。また、保護者がより受講しやすいプログラムの導入についても検証し、より効果的な事業となるよう取り組む。	・養育不安の軽減や虐待予防を図る。	27年度の 事業計画	27年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	順調	・虐待を行った保護者や養育不安のある保護者に対して児童に対する養育技術や家庭環境の整備に関する訓練を行い、特別な支援を要する子どもや家庭への支援を図ることができたことから「順調」とした。	【課題】 ・中断するケースの継続実施 ・保護者同士の交流の促進 【改善】 ・適応ケースを見極め、継続実施にむけた動機付けを高める。 ・保護者同士の交流をより促進するようなプログラムを検討する。	家族のための ペアレント トレーニング事 業	決算 1,202	予算 1,574	子家・ 子ども総合セ ンター
27年度の事業計画	27年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度												
区分	27年度	28年度	29年度															